

令和 7年 12月 19日

**吉田財団設立40周年記念事業**  
**令和7年度 特別助成金 活動報告書**

公益財団法人吉田学術教育振興会

理事長 山倉 修一 殿

助成事業の名称	各分野の専門家から教育のヒントを学ぶ			
学校名	福岡県立明善高等学校			
学校長名	中島 敦雄			
報告者	大塚 和広			
事業の目的	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本校教員が専門家から講演・講義を通して先端かつ最新の技法を学ぶ</li> <li>2. 全教員が教育力向上を図り、生徒の資質・能力の向上につなげる</li> </ol>			
実施日(期間)	令和7年5月30日～令和8年2月28日			
行事・活動の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 少年補導職員の経験を持つ講師から生徒指導の在り方を学ぶ</li> <li>2. コーチング分野で全国的な活動をしている講師から人材育成の手法を学ぶ</li> <li>3. 予備校の有名講師から教科教育の本質と教授法について学ぶ</li> </ol>			
対象者・人数	本校教員(非常勤講師を除く) 69名			
目標達成の状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 多様な生徒に対する理解が促進され、自己肯定感の重要性を認識できた</li> <li>2. 生徒指導上の課題をコーチングの視点で対応する新たな手法や捉え方を獲得した</li> <li>3. 教員の授業力向上に対する有効な方法を認識し、研究の意欲向上につなげた</li> </ol>			
教育的効果・成果に対する初見	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 正しい生徒理解を基礎として対生徒対応能力を向上させるきっかけとなった</li> <li>2. 対人関係形成のためのコミュニケーション能力の成長を自分自身で意識できる</li> <li>3. 授業力向上について予備校講師の技術を参考にするという手段があることを知った</li> </ol>			
3年先の姿(希望)に向けた活動計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生徒指導の捉え方について継続的に教員対象の研修を実施し課題解決能力の向上を図る</li> <li>2. 今回の動画視聴をきっかけとして授業力向上の取り組みを続け、本校の進路実績の向上につなげる</li> </ol>			
経費区分	合計金額	会計報告		備考
		助成金	自己負担	
講演料	95,000	95,000		
交通費	22,440	22,440		
受講料	220,570	212,560	8,010	
合計	338,010	330,000	8,010	

※ 助成金の使途については、領収書(写し可)を任意の台紙に添付して、ご報告願います。

## 活動状況の写真等(当日の様子など)

### 【少年補導職員の経験を持つ講師から生徒指導の在り方を学ぶ】

元警察官で少年サポートセンター所属の安永 智美 氏に、「いのちの講演会」として本校定時制の生徒と教員に対して命や性に関する講演を行っていただいた。生徒は自分の命を守るにはどうするべきか、どう考えるべきかを学ぶ貴重な機会となった。同時に、教員にとっては、多様な生徒に対する理解が促進され、生徒の自己肯定感を高めることの重要性が認識できた。



いのちの講演会「大切なあなたへ伝えたいこと～自分の命・未来を守るために～」の様子

### 【コーチング分野で全国的な活動をしている講師から人材育成の手法を学ぶ】

ナラティブコミュニケーション教育研究所所長 佐藤 敬子 氏に職員研修会において「コーチングの基本と不登校生徒への対応」の演題で講演を行っていただいた。コーチングの観点から生徒を主体的・積極的に活動させる方法について具体的に提示していただいた。多くの教員にとって真新しい視点からの生徒指導の方法は非常に有意義な提案になった。

### 【予備校の有名講師から教科教育の本質と教授法について学ぶ】

代ゼミ教員研修アーカイブスと駿台教育探究セミナーの映像教材を各教科で視聴し研修を行った。難関大学入試レベルに相当する問題をどのように解説すると生徒に伝わるのか、また、その問題の学問における背景や出題者の意図は何かなど、具体的な内容は本校教員に対して重要な示唆を与えた。映像教材を視聴し研修を実施した教員の感想をあげる。

- ・大学入試問題(過去問)の効果的な活用の仕方について参考になった。
- ・教材作成時の構成の方法、問題選定の基準について参考になった。
- ・探究型の授業の展開方法について参考になった。
- ・問題の解法や板書の仕方、問題を解くときのポイントの押さえ方が参考になった。
- ・受験指導のプロによる教員向けの講座を視聴できたのは大きな学びになった。
- ・予備校の生徒の再現答案をベースに講義がされていたのは指導の参考になった。
- ・教材自体がとても参考になるため、再度実施していただけたらうれしい。

この研修は役に立ったか、の質問(アンケート)について

- ① 大いに役に立つ ②どちらかと言えば役に立つ ③どちらでもない ④どちらかと言えば役に立たない  
⑤ 役に立たない

に対する回答(有効回答数10件)

⇒ ① 8件(80%) ② 2件(20%) ③～⑤ 0件(0%)



国語科の研修の様子

今後の活動見通し・課題

少年補導職員、コーチング指導者、予備校講師といった専門の分野で活躍されている方々から学ぶことの意義は非常に大きいものであった。事後の調査においても今回の取り組みに刺激を受け、これからの指導に役立てたいという教員が多数見られている。吉田学術教育振興会から今回、令和7年度特別助成金をいただいたことは「教員の学び」に大きく寄与した。心から感謝申し上げたい。

今後の課題は、この「教員の学び」をいかに継続するかということである。今回の助成により、教員の学び方について示唆していただいたことを踏まえて、学びの方法を工夫しつつ、多くの教員が研修会や勉強会を自主的に企画し、参加者を巻き込んで有意義な学びを展開できるよう、学ぶことが当たり前となる職員間の雰囲気醸成に努めていきたい。